

2026 年第 1 回 ABAC (ジャカルタ) 会議【仮訳】

2026 年 2 月 9 日

ジャカルタ、インドネシア

ABAC は 「Openness (開放)」「Connectivity (連結性)」「Synergy (シナジー)」 をテーマに 2026 年の作業計画への取り組みを開始

APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC : APEC Business Advisory Council) は本日、「Openness (開放)」「Connectivity (連結性)」「Synergy (シナジー)」をテーマに 2026 年の作業計画への取り組みを正式に開始し、持続可能な経済成長の基盤として、開かれた市場、地域統合の更なる深化、協働によるイノベーションへのアジア太平洋ビジネス界のコミットメントを再確認した。

今回の会議は 2026 年に開催される 4 回の ABAC 会議の初回にあたり、地域のレジリエンスと長期の繁栄を強化するための、実践的でビジネス主導のソリューションに焦点を当てた、年間の戦略的方向性を定めるものである。

2026 年 ABAC 議長のリー・ファンロン氏は、現在の世界情勢におけるこのテーマの重要性を強調し、「不確実性と分断が深まる時代に、アジア太平洋地域のビジネス界は、Openness (開放)、より強固な Connectivity (連結性)、そしてより深い Synergy (シナジー) を求めるという点で一致している」と述べた。「これらの原則は抽象的な理想ではなく、成長を持続し、サプライチェーンを強化し、そしてこの地域が世界経済の繁栄の原動力としての役割を担い続けるために、実践的に必須である。」

Openness (開放) : 成長基盤の強化

開放は、アジア太平洋地域の経済的成功の中核を成し、強固で強靱かつ開かれた経済秩序によって実現される貿易・投資の自由化と円滑化を通じて達成されるものである。改革された世界貿易機関 (WTO : World Trade Organization) を含む、ルールに基づく世界貿易体制はその核心である。ABAC は、アジア太平洋自由貿易圏 (FTAAP : Free Trade Area of the Asia-Pacific) という共通のビジョンへ向けて前進していけるよう、引き続きさまざまなアイデアを創出していく。ABAC はまた、ビジネスのための自主的な「同一賃金枠組み (Equal Pay Framework)」や非関税障壁 (non-tariff barriers) への対応を通じて、平等な機会へのアクセスを促進する行動を前へ進めていく。ABAC は、APEC の各国・地域がデジ

タル技術を使って、グリーン、デジタル、サービス主導の未来に向けた貿易を促進できるよう支援し、デジタル配送サービス貿易の継続的成長を可能にし、電子商取引の関税モラトリアムの恒久化を目指していく。

Connectivity（連結性）：統合とレジリエンスの強化

連結性は、地域の産業とサプライチェーンの安定性と効率性に不可欠である。「2015 - 2025 年 APEC 連結性ブループリント（APEC Connectivity Blueprint for 2015-2025）」は、アジア太平洋地域がインフラの連結性、規制の調整、そして人と人との交流において意義深い進歩を達成するための推進力を提供した。

ABAC は、物理的、制度的、人的な連結性を強化し、地域全体で物品、サービス、情報、技術、人材の、継ぎ目のない流れを実現するための実践的な提言を策定する。

Synergy（シナジー）：イノベーションと持続可能な開発の推進

シナジーは、アジア太平洋地域におけるイノベーションと持続可能な成長のための原動力である。技術革新に牽引された急速な経済成長は、産業と経済モデルの姿を変えると同時に、インフラと環境へのさらなる負荷を強いている。国・地域と各産業にまたがる実践的な協力が重要である。

ABAC は、技術とイノベーションにおける、国・地域と産業セクターにまたがる横断的協力を推進する。従来のセクターでの AI 活用の加速、デジタル通貨がもたらす影響への対応、APEC における量子技術の商業的進歩と受け入れ体制の評価、そして急速に進化するデジタル環境がもたらす機会と課題への認識の強化などに焦点を当てていく。ABAC は、技術の生産的潜在力を実現するためのロードマップの提供を目指し、一方で技術的進歩の恩恵が域内に広く享受されることを確実にしていく。

コラボレーションもまた、強靱で包摂的な低炭素成長を推進するうえでも、中核を成すものである。ABAC の今年取り組みは、強靱性を高め、具体的な成果をもたらす、実践的で投資志向のビジネス主導型ソリューションを推進する。優先事項には、食料安全保障と持続可能な農業の強化、労働力の強靱性とアクセスに焦点を当てた、よりスマートで包摂的な医療システムの実現、エネルギー・トランジションの主要な推進力としての持続可能で責任ある鉱業の促進、そして公正で意欲的かつ現実的なエネルギー・トランジションの支援が含まれる。

ビジネスと政策課題の調和

会期中、ABAC は、APEC 高級実務者との対話も行い、ビジネス界と政策立案者間の緊密な連携の重要性を再確認した。この意見交換においては、ABAC の提言と APEC のより広範な作業計画との間の相乗効果の確保、政策の一貫性の強化、そして地域成長を促進するための協働の努力の効果最大化に焦点が当てられた。

リー議長は「ビジネス界の代表者と政策立案者間の緊密な連携が不可欠である」と述べた。「APEC 高級実務者との対話は、政策枠組みとビジネスの優先事項が共に前進することを確実にする共通のコミットメントを反映している。」

インドネシアのアイランガ・ハルタルト経済担当調整大臣が基調演説を行った。

リー・ファンロン議長は、ABAC 会議の主催とすばらしい準備に対して、ABAC インドネシアに感謝の意を表明した。ABAC インドネシアは、アニンディア・バクリー氏を筆頭に、シンタ・カムダニ氏とカルティカ・ウィルジョアトモジョ氏が ABAC 委員を務めている。

以上

<2026年第1回 ABAC（ジャカルタ）会議の様子>



ABAC 委員の集合写真【写真提供元：ABAC 国際事務局】



開会の挨拶をする
インドネシアのイルランガ
経済担当調整大臣



クロージング・プレナリー
での 2026 年 ABAC 議長
リー・ファンロン氏



オープニング・プレナリーの様子



APEC 高級実務者と ABAC 委員との対話
【写真提供元：ABAC 国際事務局】



対話において発言する外務省の渡邊審議官（左）
経済産業省の田村通商交渉官（右）



オープニング・セレモニーに出席する ABAC 日本委員（左から、池田委員、古澤委員、古田委員）